

平成22年度 法科大学院入学者選抜試験問題

刑 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、60分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン（鉛筆は不可）またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、2枚あります。2枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【刑法】

Xは、暴力団A組の組長であるが、拳銃をもたせたボディーガードのYを連れ、Pの経営するレストランに行き、Pと食事をしながら次の祭りの協賛金について話し合いをしていたが、Pが不景気を理由に断ったのに激昂し、卓上にあったナイフを逆手にもち、「殺してやる」とPの心臓に向けて突き出した。しかし、危うくPが手でカバーしたため、手と胸に浅い傷を負わせるにとどまった。Pは、「お金はできるだけ、出させていただきますから命だけは助けてください」と懇願したため、Xは、攻撃を止め、Yに病院に連れていくように命じて、立ち去った。YはA組の車でPを運ぶ途中、Pの持っている現金を出すように脅したが、応じないため、護衛用にもっていた拳銃でPの腹を撃ち、現金を奪った。YはPを病院に運んだが、治療に時間がかかったこともあって、Pは腹の傷がもとで死亡した。

X・Yの罪責について論じなさい。

〔配点80点〕